

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 多摩市立多摩第三小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒206-0014

E-mail : ito-nobuhisa@city.tama.tokyo.jp

Website : https://pbvtamaedu.securesites.net/tamada3/

児童生徒数：男子 173 名 女子 166 名 合計 339 名

児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ・3年「見つけよう 伝えよう 町じまん」(地域の人々との交流)
地域住民の憩いの場である「ふれあい公園」や「ふれあい館」の魅力を再認識し、自らも魅力アップのためにできることを考え実行する活動を通して、課題を設定する力や他者に分かりやすくまとめ、表現する力を育てるとともに友達と協同して取り組む態度を養う。また、地域の公共施設が抱える問題に自らかかわり、よくしていこうとする実践的態度を養う。
- ・4年「伝えよう私たちの伝統」(どんど焼き体験、お祭りの運営・参加、伝統文化体験)
地域に伝わる伝統や文化の特徴や継承に力を注ぐ人々の思いを調べ、自分たちにできることを考え、実行する活動を通して、課題を設定する力や他者に分かりやすくまとめ、表現する力を育てるとともに、友達と共同して取り組む態度を養う。また、地域の一員として、伝統や文化を守り、受け継ごうとする心情と実践的な態度を養う。
- ・5年「日本の電力を考える」(日本が直面している電力問題を考える活動)
日本が直面している電力の問題について、自分たちにできることを考え実行し発信する活動を通して、課題を設定する力や他者に分かりやすく表現する力を育てるとともに友達と協同して取り組む態度を養う。また、社会の問題に主体的にかかわり、自分たちができることをしていこうとする実践的な態度を養う。
- ・6年「えがおいっぱい ふれあいいっぱいプロジェクト」(高齢者との交流)
高齢者やその暮らしを支援する人々との交流を通して、思いやりの心をもって接することの大切さや相手の立場を考えて行動することの大切さに気づき、周りの人たちが笑顔で暮らすために自分のあり方を見つめる。また、地域の高齢者のために自分ができることを考えて実行しようとする意識と態度を育てる。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()